



西城紫水のスマートフォン教室

9月10日(木)、9月17日(木)にスマートフォン教室を開催しました。西城自治振興センター貢献活動中の清水さんが企画しました。マンツーマンで教わりながらスマートフォンを使ってみます。フェイスブックやInstagram操作方法を試してみます。参加者からは教わったことを忘れないようにしたいと好評でした。



スマホの操作説明をする清水さん

Film Only:広島大学写真部写真展

4月に西城自治振興センターに来ていただいた広島大学写真部の皆さんが広島県立美術館で写真展を開催されました。写真フィルムで撮影され、カラー写真、モノクロ写真、芸備線と3章22作品の展示です。カラー写真は古い絵はがきのような温かみがあります。西城の皆さんに見ていただきたいと思いました。



9月6日、田村区長(左)から写真部部长萩元さんに開催祝いの花束をお贈りしました

西城小学校水辺教室

9月30日(水) 3年生6名が西城川に入って水の中の生き物を捕まえて調べました。汚れた水に住む生き物はきれいな水でも生きられます。きれいな水にしか住めない生き物は汚れた水には住みません。見つけた生き物23種類から西城川はきれいな水だとわかりました。子ども達は西城川を汚してはいけないことを学びました。



西城川で水生生物をさがします

西城紫水の現状と課題を知ろう！

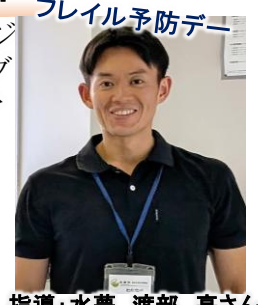
西城町自治振興区連絡協議会講演会として、西城紫水高校の現状と課題、及び学校運営について、校長 早稲田氏を招いての講演会と意見交換会を開催します。ぜひ、ご参加ください。参加費無料
日時:11月7日(土)午前10時
場所:西城自治振興センター



校長 早稲田 浩太郎 氏

水夢のジムを利用しよう！

運動苦手でも大丈夫!!はじめてのジム体験会を開催します。トレーニングルームの機器を利用してフレイル予防に役立てましょう！参加費無料
日時:11月18日(水)13:30~15:00
場所:水夢トレーニングルーム
申込締め切り:11月10日(火)
西城自治振興センター ☎82-2175
社協西城地域センター ☎82-2953



指導:水夢 渡部 亮さん [介護予防健康アドバイザー]

健康マージャン

11月11日(水)13:30~
11月25日(水)13:30~
独自ルールで行うマージャンで未経験者や初心者の方でも大歓迎です！予約・参加費不要です。



いのちの叫び私の使命 吉野誠 展

西城町出身の吉野誠さんの作品展を西城で開催します。戦争体験に基づき、平和を希求する祈りを込めた油絵やアルミアートを展示します。入場無料
日時:11月16日(月)~22日(日)【予定】
場所:西城自治振興センター



落語を楽しみましょう！落語を楽しむ会

東城町ご出身の真打ちさんの落語
日時:11月30日(月)13:45~15:30
場所:西城自治振興センター
出演:林家ひろ木師匠
おはなし会ダンボ (紙芝居「策伝物語」)
観覧無料 (「投げ銭」にご協力ください)



やさしいパソコン教室

10月23日(金)13:30~
11月13日(金)13:30~
※都合により変更になることがあります 講師:宮原賢治さん



西城自治振興区だより 2026.10.20(火) vol.172

西城まちづくり便

☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
e-mail:saijyo@jichi@gmail.com

ヒバゴンのまち 西城町

自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします♪

西城町観光協会とタイアップした情報サイトです
地域の情報などを発信します

ヒバゴンの町西城

*こちらからお入りください

願いが一つずつ現実に！ 子どもから高齢者まで多世代の集いの場へ！

遊具「動物探検隊」を設置します！

このたび、西城自治振興区で申請した「自治振興区活動促進補助金」が交付決定となりました。内容は生活環境整備の一環として、旧庄原市西城保育所園庭公園化事業遊具の購入です。

昨年末に経年劣化のため使用できない遊具を撤去し、子どもが遊べる遊具は何もないところでした。遊具の設置は地域の子育て世代からの要望でもありました。業者の都合により遊具の配備は来年3月初旬になります。

補助金申請の際、プレゼンテーションで強調したのは「地域住民の力で魅力ある公園を作ること」でした。その想いが今回の審査に届いたと感じています。

これからも、子どもから高齢者まで集える場になるよう取り組んでいきます。皆様のご協力をお願いいたします。



購入する遊具「動物探検隊」



9月19日(土) 有志による草刈り実施



遊具がないため広く感じる草刈り後の旧西城保育所園庭

地域防災タイムライン勉強会

9月30日(水) 第92回西城暮らしと安心の会で研修した「地域防災タイムライン」の作成方法を比婆山自治会で実施しました。広島県が作成した44枚の映像資料を使い参加者で確認しながら「地域防災タイムライン」の作成と使用方法を勉強しました。約15分ですが映像は分かりやすい内容です。他の自治会や常会でもこの勉強会ができればと思いました。



比婆山自治会 地域防災タイムライン 比婆山自治会館で12名参加

西城自治振興区・第2回環境福祉部会

福本部長から、テーマ「不安をより小さく 安心をより大きく」、キーワード「繋がりを太くするには」デジタル技術の活用についての提案をうけ、参加者からアイデアを募り、意見交換をしました。

環境福祉部の中でLINEのグループを作り、実際にやってみて、そこから問題点を洗い出していくことに決まりました。次回は11月26日(木)に開催です。



意見をホワイトボードで共有 9月24日(木)参加者9名

西城町独自の防災の日

9月30日(水) 協議体 第95回西城暮らしと安心の会

前回の西城暮らしと安心の会で防災の日を「7月16日」と決めました。平成22年7月16日発生した庄原ゲリラ豪雨災害を忘れず、地域防災意識を高める機会とし、一人ひとりが「自分はどうするか」考えるきっかけにするためです。また、自主防災組織や自治会の活動に繋げていくことも必要です。

これからの取り組みとして、「実際にやってみないと分からない」との意見に訓練の必要性があげられました。避難所開設の際の情報伝達訓練を実施することに決まりました。実際に情報が伝わるのか、地域でどこまで対応すればよいのか、自治会長が不在の場合など、課題を見つけるためでもあります。今後、西城町独自の防災の日を社会福祉協議会や自治振興区の広報で周知していくことになりました。

終始会場は大爆笑！

敬老会

9月6日(日)

大屋今櫛会では、毎月サロンを行っています。9月は敬老の月として敬老会を計画しましたが、余興の出し物を何にするか悩んだ末、6日(日)に「せらの小路あやまろう」さんの漫談に決め27名の参加で、終始会場は大爆笑でした。最近これほど大笑いする機会はなかったように思います。「せらの小路」と昼食を共にし、楽しい一日を過ごしました。

今櫛会 敬老会 朗尽輪会



神楽で元気に！

敬老会

9月13日(日)

9月13日(日)、西城自治振興センターにおいて、「五町自治会の敬老会」を実施しました。参加者37名。全員での記念撮影の後、式典が始まりました。田村富夫会長と渡部大輔高齢者部長のあいさつの後、長寿の皆さまへ記念品を贈呈しました。記念行事は、長寿を祝って「神楽」です。西城紫水高等学校の神楽部と神楽愛好会の皆さまの夢の共演です。

めでたい恵比寿舞や、迫力満点の大蛇(おろち)退治など、会場は大きな拍手に包まれました。餅まきでたくさん福をいただきました。「神楽を観るのは久しぶり。力強く躍動的な舞に感動しました。元気をもらいました。伝統を伝承する姿に感動しました」など、大好評でした。演者の皆さまありがとうございました。

昼食の後は、シルバーリハビリ体操や地元有志のスコップ三味線で、なごやかに過ごしました。地域で敬老会が開催できて、よかったです。

五町自治会

世話人 山脇明子 談



敬老会に集まれた五町のみなさん

笑ったり！驚いたり！

敬老会

9月21日(祝・月)

9月21日(祝・月)、西城自治振興センターで敬老会を開催しました。16名の方が参加され、元気な顔がそろったところで4名の方の米寿表彰式が行われました。

ご長寿をお祝いするアトラクションで会場を盛り上げてくださったのは、世羅町を拠点に活躍されているせらの小路あやまろうさんです。漫談やマジック、ためになる話など盛りだくさんの内容で、笑ったり驚いたり感動したり、楽しくにぎやかな時間を過ごすことができました。お昼には、みんなでおいしいお弁当に舌づつみを打ちながら、ゆったりしたひとときを楽しんでいただきました。

短い時間でしたが、この会が良い思い出となり、皆さんの明日への活力につながることを心から願っています。最後になりましたが、準備や運営でご協力いただいた関係者の方々、大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

五日市公盛会

事務局長 小早川礼子 談



五日市公盛会 敬老会 朗尽輪会

ブルーハーモニー

楽団演奏！

敬老会

9月21日(祝・月)

9月21日(月)の敬老の日、大佐村敬老会を行いました。対象者は44名で、この内27名が参加されました。記念行事として、西城ブルーハーモニーの楽団(22名)による演奏で、懐かしい数々の歌を聴かせてもらいました。またリズムに合わせて歌ったり、身体を動かしたり、会場は大いに盛り上がりました。

その後、敬老の皆様の懇親会を行い、御祝いとさせていただきます。大佐村自治会 会長 瀧口秀志 談

大佐村自治会



西城ブルーハーモニーが演奏

野球観戦

9月22日(休・火)

大佐村自治会では、今年もカープ応援隊によるプロ野球観戦に参加(28名)しました。

9月22日(火)に広島対巨人戦がデーゲームで行われました。試合は1対1の接戦のまま延長戦にもつれ込み、決着がついたのは11回の裏の勝田選手の犠牲フライでした。

大佐村の応援団はもう帰りのバスの中で、それでもスタンドでの好ゲームへの声援、バス出発後のサヨナラ勝ちの知らせに、満足して帰途につきました。

大佐村自治会

会長 瀧口秀志 談



マツダスタジアムで観戦

住民自治のあり方を巡って

庄原市自治振興区連合会では、庄原市との間で、昨年より「住民自治のあり方」について協議を重ねています。「本市のまちづくりにおける自治振興区と市行政との役割について」、「自治振興区の組織のあり方について」、「自治振興区振興交付金等の抜本的な見直しについて」の論議です。(令和8年度庄原市自治振興区連合会総会から)



令和8年第4回(9月)庄原市市議会 定例会のようす

9月議会において、「持続可能な地域運営体制について」議員質問と市長答弁がありました。この議会でのやりとりから、その協議の一端をお届けできるものと考えましたので、紹介します。

西城自治振興区 区長 田村富夫

(議員の質問)

本市では合併と同時に自治振興区体制がスタートし、20年が経過しました。自治振興区は地域のコミュニティの醸成をはじめ、防災、福祉、公共交通、地域行事など、それぞれの地域の実情に応じたさまざまな活動を担い、市民が主体となったまちづくりを支えてきていただきました。一方、人口減少や高齢化が進む中、自治振興区においても、役員や活動の担い手、後継者の確保など、今後の地域運営を考える上でさまざまな問題が生じております。こうした問題についてはこれまでも議会において議論が行われ、市においても認識されているものと考えております。

令和8年7月に示された行政経営審議会の答申では、自治振興区との協議のあり方の再整理が掲げられ、その具体的な取り組みとして、役割の再整理、適正規模での運営支援、組織的基盤の強化、交付金の見直し、交流活動の促進などが示されております。また、将来的な人口推計や活動に必要な人的・自然・経済的要素、伝統的生活圏を勘案した自治振興区の再編、複数の自治振興区での事務職員を兼務できる制度変更、法人化による組織的基盤の強化など、今後の地域運営について具体的な方向性が示されております。

人口減少が今後さらに進むことを考えれば、こうした方向性は必要なものであると考えております。その上で、持続可能な地域運営を考えるとき、組織や制度のあり方とともに重要になるのは、その地域を実際に誰が担い、どのように継続していくかという人の問題であります。

これまでの自治振興区は、地域において主体的に活動されてきた多くの住民、役員、事務職員の方々によって支えられてきました。こうした方々の経験や取り組みを大切にしながら、今後は現役世代や若い世代を含め、新たに地域運営に関わろうとする人が、この条件であれば自分も地域づくりを担ってみようと思える環境をつくっていくことが必要ではないかと考えております。

特に現役世代や若い世代が継続して地域に関わるためには、地域活動への参加という視点だけでなく、地域の問題解決を仕事につなげるなど、生活との両立を可能とする視点も必要になると考えております。

そこでまず伺います。行政経営改革審議会の答申では、自治振興区の再編や法人化など、組織や制度のあり方について具体的な方向性が示されているが、今後の地域運営を考える上では、それを実際に担う人が継続して関わるができる環境づくりまで含めて検討する必要があると考えますが、市長の見解を伺います。

(市長の答弁)

自治振興区は、地域コミュニティの醸成をはじめ、防災、福祉、地域公共交通、地域行事など、各地域の実情に応じた主体的な活動を通じて、本市の住民自治の基盤を支えていただいております。一方で、人口減少と高齢化の進行により、役員や活動の担い手、後継者の確保が難しくなっている現状は、市としても深刻な課題であると認識しております。

本年7月に示された行政経営改革審議会の答申においては、自治振興区との協議のあり方の再整理が掲げられ、人口減少下における持続可能な地域運営を考える上での具体の方向性が示されているところであります。その上で、持続可能性を確保するためには、組織や制度の見直しに関する議論にとどまらず、実際に地域運営を担う人が無理なく関わるができる環境づくりまでを一体として検討する必要があると考えています。

具体的には、役員業務の見直し、属人化の解消、引き継ぎの標準化、役割分担の工夫等により、負担の平準化と参加の拡大を図ることが重要であります。市といたしましては、自治振興区が地域の意思を踏まえ、主体的に取り組まれることを基本としつつ、各地域の実情を丁寧に向いながら、必要な連携を進めてまいります。